

杉並農人

Suginami Nōjin

第19号



杉並の農家が輝いている。

新鮮で安心して食べられる減農薬・無農薬の野菜。

日々の生活をいろどる花々。

都市空間に広がる農の風景は人々の心を癒します。

杉並には、地元を豊かにし、街に潤いを届けている農業者がいます。

即売会や畑の直売所で、採れたての農産物を販売し、

子どもたちには、学校給食や社会科見学を通して

食や農の大切さを伝えています。

区民に寄り添い、がんばる杉並の農業者を

“杉並農人”と呼び、紹介します。



杉並区の農業 DATA

● 農家戸数：125戸

※令和4年4月1日現在

● 農地面積：37.79ヘクタール (377,900㎡)

※令和4年4月1日現在

※農地のある区部11区で5番目の農地面積

※野菜・果樹の他、植木・切り花等の栽培も多い

● 野菜の生産量ベスト3

1位 トマト …………… 87トン
2位 ダイコン…………… 81トン
3位 ナス …………… 76トン

● 果物の生産量ベスト3

1位 カキ …………… 11トン
2位 キウイフルーツ 5トン
2位 クリ…………… 5トン

東京都農業会議「区市町村別農業データブック(令和2年度)」より

「みんなウエルカム！」地域に開かれた農園

授業や収穫体験で食育に貢献

東京女子大学の近く、善福寺2丁目の住宅地に本橋成一さんの農園が広がる。「いつでも誰でも来てほしい」と思っているの、周りに柵をしていないんですよ」という畑は、オープンで地域に溶け込んでいる印象だ。畑の一角にある直売所には、近隣の方や、善福寺公園への散歩途中の人などが次々と訪れる。季節ならではの新鮮な野菜が並び、モロヘイヤやエゴマなど馴染みの薄い品には、栄養成分やレシピが添えられているのも嬉しい。

年間30種類ほどの野菜を栽培しており、夏の一番人気はトウモロコシ。「市販の物と鮮度や甘みが全然違います。毎年予約だけでほぼ売り切れてしまうんですよ」。冬のおすすめは赤ダイコンで、サラダやピクルスに使うと彩りが美しいと好評だ。

地元で採れる作物や旬の食材について知ってもらおうと、収穫した野菜を学校給食に納品している。また、保

育園の芋ほり体験や小学校の社会科見学も積極的に受け入れ、ダイコンの種まきから収穫、販売までを一貫して体験する模擬授業に協力したこともある。子どもたちが農に触れる機会を提供するため、「準備やフォローは大変ですが、ウエルカムです!」と優しい笑顔を見せる。

時代のニーズを取り入れながら100年の歴史を繋ぐ

本橋農園は祖父の代から100年以上続いている。本橋さんは大学卒業後、食品関係の会社に10年ほど勤めたが、介護で多忙になった母親の代わりに就農。「農業の世界にはすんなり入れませんでした。父が何も教えてくれなかったの、見よう見まねで草むしりからのスタートです」。父・平八さんと共に働いたのは13年だが、その間に本橋さんはトラクターを導入し、自分の代になってからは、空心菜やケールなど、流行を取り入れた新しい



1. 夏野菜の一つ、オクラ。花は午前中にだけ見られる
2. 手作りのポップが目目を引く直売所。珍しい野菜には、特長や食べ方の説明書が添えられている



本橋 成一
 昭和30年生まれ。10年間の会社勤務を経て就農。現在、約48.23アール(4,823㎡)の農地で、年間約30種類の野菜と果物を栽培している。杉並区グリーンクラブ会長を務めた後、令和2年に杉並区農業委員会会長に就任。桃井第四小学校PTA会長、上井草青少年育成委員会副会長、善福寺町会副会長を歴任し、善福寺青年会、警察ボランティア等、地域の活動にも精力的に取り組む。

直売所／杉並区善福寺2-26
 本橋農園
 ※営業時間9時～17時

作物にもチャレンジしてきた。減農薬にもこだわっている。「その分、手はかかります。除草剤などを使えば楽だけど、自分たちの手で丁寧に草をむしっている。平成30年からはボランティアさんが5名ほど、週2回手伝いに来てくれています。熱心な方々ばかりで、とても頼もしいんですよ」。この春からは、息子の隆生さんが畑を手伝っている。「父とは経験が違うので、農作業のスピードでは勝てる気がしません」と尊敬の目を向ける隆生さんに対し、「息子もビニールハウスの建設や新商品の開発など、いろいろ計画してくれて心強いです」と目を細める。

「美味しい」「また来ます」の聲が一番の喜び

畑の南側では、本橋さんの代になりミカンやブルーベ

リーなどの果樹を育て始めた。平成30年からは、毎年夏休みに親子連れを対象に「ブルーベリー収穫体験」を実施している。枝にたっぷりと実った紫色の実を、一粒一粒楽しそうに摘み取る子どもたちを見つめながら「食べた人が、美味しい、また来ますと言ってくれるのがなによりの喜びです」と語る本橋さん。育てる作物について、地域の人のリクエストに応えることもあるという。農業委員を3期務めた後、令和2年7月からは農業委員会会長として、区内の農地の保全と農業の振興に取り組んでおり、リーダーとして頼られる存在だ。今後について尋ねると「そろそろ隠居したい気分です」と笑いながらも、働く手を休めることなく真摯に畑と向き合っている。「ショウガを使ってジンジャーエールを作ろうかと、みんなで考えているんですよ」と、農園の新たなアイデアも尽きない様子だった。



topic



地域の農業を守り続けて。

「農業委員会」をご存じですか？

農業者と有識者から構成される杉並区農業委員会は、現在12名※のメンバーで農地関連法令に基づく許認可や、生産状況調査、農地台帳の整備等、区内の農地管理全般に関わる業務を担っています。月例会議で農地の活用策や新たな担い手の育成、区民との交流活動等の課題について検討するほか、秋には区内各農家を訪問して農地が適正に利用されているか等を確認する「農地パトロール」を実施しています。



農地パトロール



月例会議の様子

都市農地は安全で新鮮な質の高い農産物を提供するだけでなく、環境保全、災害時の防災空間、農業体験を通じた教育・交流などの多面的な役割をもっていますが、残念ながら区内の農家戸数、面積は年々減少しています。農業者の生活を守りながら、貴重な都市部の農地を継承していくため、農業委員会は重要な役割を果たしています。

(※) 条例が定める委員数は13名。令和4年10月現在1名欠員。



農業委員会ミニ知識

「農業委員会」制度の誕生は昭和26年

「農業委員会等に関する法律」及び「地方自治法」の成立を受けて全国各地自治体に設置されましたが、都市部の農産業縮小に伴い、その数は減少。今や東京23区で農業委員会を設置するのは7区のみとなりました。

委員選出の歴史

農業委員会の前身は昭和13年に設置された「農地委員会」。当初の委員は官選でしたが、戦後は農民による直接選挙制に。初の選挙で選ばれた杉並区の委員は、小作5人、地主3人、自作2人に知事推薦の3人を加えた13人でした。直接選挙とはいえ、階層別委員制が時代を感じさせます。

「のうてん」って農業関連用語？

「農地を駐車場や住宅として使いたい」という場合、地目を変更する登記手続きを行います。農地から別の目的に転用する「農地転用」、略して「のうてん」。まずは農業委員会への届け出が必要です。申請は年間を通じて受け付けています。

高度経済成長期の変遷

杉並区	農家戸数	耕地面積(㎡)
昭和25年	1,290	540
昭和45年	448	131

※最新の面積と戸数は本誌2ページに掲載

【参考資料】

「杉並区農業のあゆみ」杉並区/杉並区農業委員会(昭和50年発行)
 「東京農業のすがた」東京都産業労働局(令和4年3月発行)
 「農業委員会の役割と制度」リーフレット 一般社団法人東京都農業会議(令和2年3月発行)



MARKET SCHEDULE 2022

杉並産の野菜を食べてみたいと思ったら！

杉並産野菜は農家の直売所のほか即売会などでご購入いただけます。ぜひ足を運んでみてください。



開催日	イベント名	場所	販売農産物	問合せ先
毎週火曜日	JA東京中央 杉並中野支店即売会	JA東京中央 杉並中野支店 (桃井2-3-4)	野菜・草花	JA東京中央 杉並中野支店 TEL.03-3399-8983
毎週木曜日	JA東京中央 城西マルシェ	JA東京中央城西支店 (成田東5-18-7)	野菜	JA東京中央 城西支店 TEL.03-3392-7271
毎週木曜日	JA東京中央 高井戸マルシェ	JA東京中央高井戸支店 (高井戸東3-22-11)	野菜	JA東京中央 高井戸支店 TEL.03-3331-5181
毎月第2土曜日	すぎのこマルシェ	農福連携農園すぎのこ農園 (井草3-19-23)	野菜・草花 加工品・雑貨	農福連携農園すぎのこ農園 TEL.03-5303-9835
毎月第3土曜日	座の市	座・高円寺 (高円寺北2-1-2)	野菜	座・高円寺 TEL.03-3223-7500
10月28日(金)	JA東京中央 杉並中野支店 野菜と花の即売会	JA東京中央 杉並中野支店 (桃井2-3-4)	野菜・草花	JA東京中央 杉並事業所 TEL.03-5349-8792
10月29日(土)	花と緑の井草まつり	井草森公園 (井草4-12-1)	野菜・草花	東京商工会議所杉並支部 TEL.03-3220-1211
10月30日(日)	マルシェ&ハロウィン 子どもまつり	荻窪地域区民センター (荻窪2-34-20)	野菜・草花	荻窪地域区民センター協議会 TEL.03-3398-9127
11月5日(土)・6日(日)	農業祭 (すぎなみフェスタ同時開催)	桃井原つば公園 (桃井1-8-1)	野菜・草花	産業振興センター都市農業係 TEL.03-5347-9136
11月12日(土)・13日(日)	JA東京中央 城西支店 野菜と花の即売会	JA東京中央城西支店 (成田東5-18-7)	野菜・草花	JA東京中央 杉並事業所 TEL.03-5349-8792
11月19日(土)	すぎのこ農園まつり(仮)	農福連携農園すぎのこ農園 (井草3-19-23)	野菜・草花 加工品・雑貨	農福連携農園すぎのこ農園 TEL.03-5303-9835
11月26日(土)	JA東京中央 農業感謝まつり	ファーマーズマーケット荻窪 (阿佐谷南3-13-2)	野菜・草花	ファーマーズマーケット荻窪 TEL.03-5349-8791
11月24日(木)・30日(水) 12月14日(水)・23日(金)	JA東京中央 井荻マルシェ	JA東京中央井荻支店 (今川1-17-15)	野菜・草花	JA東京中央井荻支店 TEL.03-3395-3361
12月2日(金)	JA東京中央 杉並中野生産部会即売会	杉並区役所本庁舎 中杉通り側入り口前 (阿佐谷南1-15-1)	野菜・草花	JA東京中央杉並事業所 TEL.03-5349-8792
12月14日(水)	JA東京中央 城西生産部会即売会			JA東京中央杉並事業所 TEL.03-5349-8792
12月23日(金)	杉並区グリーンクラブ即売会			産業振興センター都市農業係 TEL.03-5347-9136
12月中旬予定	JR荻窪駅北口マルシェ	荻窪駅北口広場 (上荻1-7)	野菜・草花	JA東京中央杉並事業所 TEL.03-5349-8792
2月	永福和泉地域 区民センターまつり	永福和泉地域区民センター (和泉3-8-18)	野菜	永福和泉地域区民センター協議会 TEL.03-5300-9412
2月	本天沼集会所まつり	本天沼区民集会所 (本天沼2-12-10)	トマト	荻窪地域区民センター協議会 TEL.03-3398-9127
3月末予定	春の即売会	杉並区役所本庁舎 中杉通り側入り口前 (阿佐谷南1-15-1)	野菜・草花 植木	JA東京中央杉並事業所 TEL.03-5349-8792

※上記以外にも即売会の開催予定があります。詳細については「広報すぎなみ」紙面や杉並区公式ホームページにてご確認ください。
 ※新型コロナウイルスの感染拡大状況や天候等の事情により中止や変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

常設直売所 **ファーマーズマーケット荻窪**
 新鮮な野菜・草花のほかに加工食品も扱っています。

●場 所 阿佐谷南3-13-2 TEL.03-5349-8791
 ●営業時間 10:00~16:30 ●定休日 日曜・月曜・祝日・年末年始



杉並農人 第19号

2022年10月

企画：杉並区

制作：NPO法人チューニング・フォー・ザ・フューチャー

協力：杉並区農業者（JA東京中央城西生産部会、JA東京中央城西地区青壮年部、JA東京中央杉並中野生産部会、JA東京中央杉並中野地区青壮年部、
井草園芸研究会、高井戸花卉研究会、杉並区グリーンクラブ）、JA東京中央、杉並区民の皆さん

◎お問い合わせ

杉並区産業振興センター都市農業係 〒167-0043 杉並区上荻一丁目 2-1 Daiwa 荻窪タワー2F TEL：03-5347-9136

参考：杉並区発行「ふれあい農業すきなみ 農産物直販マップ 2022」

※杉並区 HP でも公開しています。「直販マップ」で検索してみてください。